



米田満先生からの宿題

関西学院大学体育会同窓倶楽部

会長 元木雄三

本日、学内外のご来賓の方々をはじめ、大勢の皆さまのご列席を仰ぎ、祝福のうちにK.G.A.A.総会・フェスタを開催できますことを心より感謝申し上げます。

かつて関学体育会の偉大な指導者であられた米田満先生は、2年の歳月をかけて、2003年6月に「関西学院スポーツ史話－神戸・原田の森篇」を上梓されました。

この米田先生渾身の一冊には、1889年の学院創立時から約40年間に亘る神戸原田の森時代の運動部各部の活動・戦績等が生き生きと綴られ、草創期の母校の様子を後世に伝える貴重な記録となっています。

先生は、その「あとがき」に次のように記されています。

「さて、『関西学院スポーツ史話－神戸・原田の森篇』は当然つぎの『上ヶ原篇』を指向する。でも、私自身の力で本書と同じようなものを作れるのかどうか。それでも衆知を集め、組織を整えて『上ヶ原篇』作成に向かうことはできる。その方向付は私の責任だと考えている。」

「あとがき」に記されたこの言葉こそ、私ども体育会の後輩が米田先生から賜った重たく大きな宿題でした。「あとは君たちで力を合わせてつくりなさい」…と。

「上ヶ原篇」は、先生のご意志を継ぎ、硬式野球部OBの大西禰充先輩（1964年卒）が陣頭指揮を取り、各部のOB・OGにて役割分担を決め、早々に原稿執筆に取り掛かりましたが、その後永年に亘る紆余曲折を経て、今年3月によりやくK.G.A.A.のホームページにて公開することが出来ました。「原田の森篇」が上梓されてから何と23年という歳月を費やしたことになります。

しかし、米田先生は6年前の2020年8月、92歳にして人生の旅路を終え、神さまのみもとへ昇って行かれましたので、甚だ残念ながら、この宿題を直接先生に提出することは叶いませんでした。

ご生前に先生へお届けできなかったことは心底悔やまれますが、「みんなで力を合わせて作成せよ」とのご指示については、何とか守ることが出来ました。

きっと先生は天国で目を細めて読んでくださっていると思います。

ここに母校体育会114年の歴史が文章として繋がりました。今後は各部のOB・OGが適宜戦績や活動を更新して、記録として未来へと繋いで行くこととなります。

これからも輝かしい記録を後世に残せますよう…私どもK.G.A.A.は引き続き可愛い母校体育会の現役諸君を熱烈に応援して行きたいと存じます。

新約聖書 フィリピの信徒への手紙 2章16節

こうしてわたしは、自分が走ったことが無駄でなく、労苦したことも無駄でなかったと、キリストの日に誇ることができるでしょう。



<https://kgaa.jp>

【ご報告】

去る6月1日開催のK.G.A.A.代表者会議におきまして、2025年度の決算・事業報告、及び2026年度の予算・事業計画につきご承認賜りましたことをご報告申し上げます。